

経済学研究科新入生の皆さんへ

経済学研究科委員長 山田幸三

新入生の皆さん、上智大学大学院経済学研究科への入学おめでとうございます。

厳しい状況が続きますが、いかがお過ごしですか。皆さんは、新型コロナウイルス感染症のパンデミックのため、通常とは大きく異なる学生生活のスタートを余儀なくされることになりました。新学期から大学で通常の授業が受けられない、自らの研究に取り組むのに図書館などの施設を活用できない、大学院で出会う新しい仲間と友情を育めない、これらは本当に残念なことです。経済学研究科の教員・スタッフは、皆さんの大学院での研究を支え、学位の授与に結実するように、精一杯の努力を重ねたいと考えています。

ICT 技術を活用してオンラインやオンデマンドの授業もなされますが、大学院での研究は、文献購読や資料整備、フィールドワークの実施など、皆さんの主体的な研究活動が基盤となることも事実です。指導教員と連絡を密にして着実に歩みを進めてほしいと思います。

現在、地球規模で不確実な環境が生じており、誰もが不安を感じています。しかし、こうした時期であるからこそ、皆さんが社会に貢献できる研究テーマを見定め、世の中の先行きを照らしうる叡智(Sophia)につながる情報や知識を発信することが大切です。大学院の研究でいかなる課題に取り組むのか、改めて深く考えてほしいと思います。この危機を社会的な課題の解決に取り組む契機と捉えて、共に乗り越えましょう。

経済学専攻主任 来島愛子

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。この度の新型ウィルスの影響で入学式やガイダンスなど一連の行事が中止となり、皆さんの顔を見ず、またキャンパスでお迎えすることができず大変残念に思っております。

授業についても教室ではなく、オンラインによって行われることになりましたが、皆さんの学生生活が充実し、有意義な時間となるように願っております。教員一同、皆さんのために準備しておりますので、積極的に勉強の機会を利用してください。不便なことが多い毎日ですが、社会の一員として協力できることを考えながら健康に留意してお過ごしください。なるべく早く状況が好転し、お目にかかれる日を心待ちにしております。

経営学専攻主任 竹之内秀行

ご入学おめでとうございます。

これからの2年間に胸を躍らせている人や、不安にかられている人、あったかもしれない別の道を思う人、いろいろな方がいるかと思います。選択は、とても重要です。なぜなら、どの選択をするかは、自分が過ごしていく環境を選んでいることを意味するからです。環境を選択すれば、日々話す人、一緒に食事をする人、議論する人もある程度決まってきます。そうです、実は自分へのインプットへ影響を及ぼしているのです。つまり、自らの形成へ大きな影響を及ぼすのです。そうした選択と合わせて、当たり前のことですが選択後の過ごし方もとても重要です。その過ごし方によって、同じ選択をしたとしても結果は大きく変わってきます。

ぜひ充実した大学院生活を過ごしてください。